

令和3年11月1日

お知らせ

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	中藤・大前	西中・能塩
内線	4653	
電話	086-272-1148	

岡山後楽園「タンチョウの園内散策」を行います ～名園の中で優美な姿を御堪能ください～

岡山後楽園では、飼育しているタンチョウを園内芝生に放す「タンチョウの園内散策」を次の日程で行いますので、お知らせします。

なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概要

毎年秋から冬にかけて、日を決めて園内芝生に放し、広々とした庭園の中で散策する様子をご覧いただいています。

なお、11月からは、混雑による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、飛翔もさせ、優美な姿を入園者に楽しんでいただきます。

2 実施日時

令和3年11月12日（金）、19日（金）、26日（金）午前8時～午前9時

- ・園内では係員の指示に従い、他のお客様と十分間隔をとって御覧ください。
- ・12月以降の園内散策の予定については、別途、お知らせします。
- ・小雨決行ですが、荒天の場合は中止します。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況やタンチョウの体調等により変更又は中止となる場合があります。これらの場合は、当日午前7時までに岡山後楽園ホームページでお知らせします。

3 場所

園内芝生及び沢の池周辺

〈参考〉

- 後楽園では、江戸時代からタンチョウをはじめとする様々な鶴を飼育しており「瑞鳥ずい」として大切にされてきました。終戦後一時途絶えましたが、昭和31年、岡山の旧制第六高等学校で学んだことのある中国科学院院長の郭沫若氏かくまつじゃくからタンチョウ2羽が後楽園に贈られました。この2羽が岡山県下の数多くのタンチョウ飼育の礎となり、岡山県は、今では全国一のタンチョウ飼育県となりました（令和3年8月末時点で59羽、後楽園ではそのうち8羽のタンチョウを飼育）。
- タンチョウの園内散策は、従前より毎年元日に行っているほか、平成24年からは秋の観光シーズン等にも実施しています。